



風の一座

風のふくまおもむくまに風によってやってきた

風の一座の3人組

ひろげよう、かなでよう、遊び心のハーモニー

どんどん生まれる「おはなし」や「おしぼい」



■上演にあたって

子どもの成長にとって、いや、きっと人間だれにとっても、何より大切な遊び…

遊びは想像する楽しさ、創造する喜び
心が自由に寛容になる魔法

人への信頼や自分への自信をつくる術
どうぞ、心の翼をいっぱい広げて、遊びの時間を楽しんでください。

そして、おしぼい「おばけたんぽぽ」は、
生きていることの喜びや、生きていくことへの
希望が、ほのぼのと湧きあがることで
しょう。幼児期にこそ、たっぷり味わってほ
しい、人間の空想する力が生み出した心
あたたまるお話です。

3人の風たち

(さくらっこ保育園) 山口美智子

チリーン・リヘン・リヘン・リヘン…

涼しい音色と共に秋色の風が部屋全体に
広がってきました。

「何がはじまるんだろう？」と、2才から5才
の子どもたちの瞳は舞台に釘づけ。ドキド
キ、ワクワクしながら、風たちがあらわれる
のを、しばらく待ちました。

タンポポとわた毛、紙ひこうき、風の音、
風のおどり、かくれんぼ… 3人の風たちが
おりなすいろいろな表情や風景に、驚きや
笑いがうずまきました。

目の前でくり広げられる楽しいおはなしは
演じている人と見ている子どもとの距離感
を縮め、共感しやすくて素敵です。

あの3人の風たちは、今頃どこで、どんな
風をふかせているのでしょうか。

また、子どもの心に、楽しい風を吹かせ
てくださいね。

●イメージあそび

手をつないだり、顔や体がふ
れあったりしていると、どんど
んイメージがひろがって……



●ふわふわコーナー

(おはなし「いろんな雲」)

紙や布やヒコークを、風に乗っ
けて、飛ばしてみると……



●おしぼい「おばけたんぽぽ」 作／岡本颯子

世界でいちばんちいさな国の、世界でいちばんちいさな野原に、世界
中からたんぽぽのわた毛がとんできました。たんぽぽのわた毛が集ま
ると、雨がふり、おひさまが照り、いままでみたこともない大きな大きなたん
ぽぽが咲きました。

国中からいろんなひとが、このたんぽぽのまわりに集まると、とてもふしぎ
なことが起こりました。

